

水都おおさか森林の市 2014 で大人気!! 「水源の森ジオラマづくり」で森の働きを学ぶ



箕面森林ふれあい推進センターでは、10月5日(日)、大阪市北区の近畿中国森林管理局などで開催された「水都おおさか森林の市 2014」に、「水源の森ジオラマづくり」で出展し、小学生37名がジオラマづくりを体験し、森林の水源かん養機能を楽しく学びました。

森林の市は、森林の恵みや木に触れることで、森林と人とのつながりを実感し、森林・林業の役割と意義、農山村の現状について理解を深め、豊かな森林資源を次世代に引き継いでいくことを目指し、毎年、同森林管理局周辺で開催されています。

会場には木材や自然素材を使ったさまざまな体験コーナーをはじめ、木製品や地域の特産品等が集まり、1万人の幅広い年齢層の方が来場されました。

会場には木材や自然素材を使ったさまざまな体験コーナーをはじめ、木製品や地域の特産品等が集まり、1万人の幅広い年齢層の方が来場されました。

材料は自然素材



「水源の森ジオラマ」は、森林から流れ出る溪流の様子を自然の素材で表現します。大地にみたてた苔むしたケヤキの皮、樹木はイタドリの花穂、葉っぱは水苔などが材料です。完成後にかぶせるカバーはペットボトルをエコ利用。体験した人からの「工作後に持って帰るのが大変です。」とのご意見から、持ち帰りに壊れないようにした工夫です。



水源の森ジオラマづくりの様子

森と水との深い関係を知りました

楽しいジオラマづくりの前には、「水源の森」「保安林」「水の循環」「森林の保水力」などについてパネルを使って勉強しました。参加者の子どもたちは、早く工作したい気持ちを押さえながらも熱心に、水の循環や森林が水を育てて浄化しているという話を聞いてくれました。

また、当センターが大阪府箕面市の国有林で取り組んでいる里山再生の取組「オオクワガタの棲める森づくり」のパネル展示をして、工作中的の小学生の保護者の方などに見ていただきました。

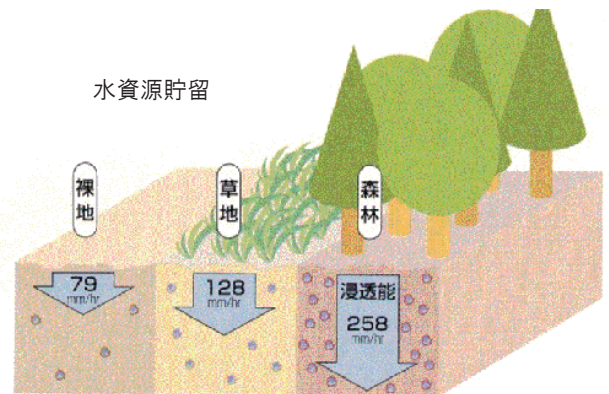
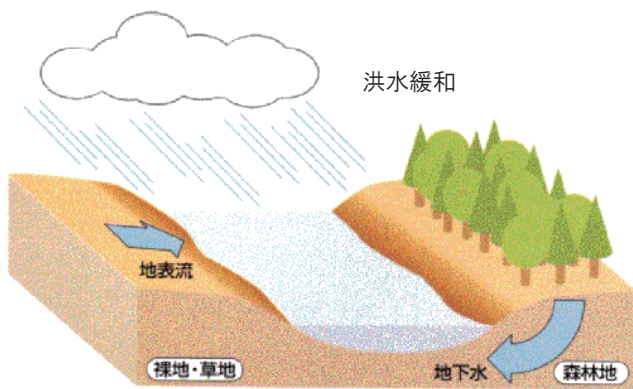
参加者のアンケートからは「ジオラマづくりが楽しかった」「森と水の関係が分かって、森林は大切だと思った」「また来年もやってほしい」「大変良い取組ですね。」などの意見がありました。当センターでは今後も、楽しい中にも、森林の大切さなど伝えていく活動を続けていきます。



すいげんかんようきのう

水源涵養機能

…森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させる機能を持っています。



※資料：村井宏・岩崎勇作「林地の水及び土壌保全機能に関する研究」

林野庁ホームページより引用

箕面森林ふれあい推進センターでは、主に京都、大阪の都市周辺の国有林野をフィールドとして、NPO、ボランティア、地域住民等による自主的な森林づくり、里山の整備、自然再生活動、森林環境教育などへの技術指導等の支援に取り組んでいます。

林野庁 近畿中国森林管理局
箕面森林ふれあい推進センター
TEL:06-6881-2013/FAX:06-6881-2055

〒530-0042
大阪市北区天満橋一丁目8-75
近畿中国森林管理局3F
URL:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/

